

質問カードの回答 ~GHの運営について 1~

01. 障がいのある方の人数とホームの数

戸塚区のGHの数は、横浜市全体で5%以下と少ないです。障がい者サービスはどのくらいですか？
 有効求人倍率 $\left(\frac{\text{GHの数} \times \text{居室}}{\text{障がい者数}} \right)$ 等の比較はできそうですね。
 ←居室数

申し訳ありません、福祉局にたずねましたが、回答できないとのことです。

現在、戸塚区GH連絡会で区内のGHにアンケート調査を行っておりますので、その中で、もう少し具体的な回答が出せるとと思います。

来年度（4月）以降にクローバーのHP等で公表します。

※GH：グループホームの略

02. 週末の外泊について

グループホームに入居できましたが、週末は自宅へ外泊してほしいのですが、グループホームの方は「外泊分は収入にならない」と言われました。外泊しにくい状況です。

ご不便をおかけして申し訳ありません。

おっしゃるとおり、GHの場合、実家に外泊をされている分は支援費の請求はできません。よって運営側からすれば一日でも多く泊まっていたideきたいと思ってしまう。運営側の一方的な希望ではありますが、例えば6人定員のホームで5人が帰省されて1人だけホームに残られている場合でも職員を配置しなければいけません。よってそんな場合はなおさら一人でも多く泊まって欲しいのです。この点は、ぜひ、行政に考えていただきたい問題です。支援費の単価を上げることも大切ですが、今、入居されている方の立場に立って外泊時の運営費の補償等もご検討いただけると嬉しいです。

※GH：グループホームの略

03. 夜勤と深夜の休憩について

資料1ページ右下に「有償職員滞在1~2%とあります。その職員は「夜勤」に当たりますか？（す）と記載されていますが、それと職員用の入居料はあり、個室に比べておてはりですか？
 基本、平均的な支援はなし」とあります。ほとんどの入居者は外へ出ている（働く）というのでしょうか？
 グループホームの課題は何ですか？ 入居したいにできず、また、支援体制が十分でない、また、入居年数の制限がある、などの支援が必要とされている人への対応は、何ですか？
 ←スタッフ

職員の勤務形態は夜勤になり、時間はホームによって異なりますが、ほとんどのホームは深夜が休憩時間となり仮眠をしています。よってベッド等の宿泊設備は整っています。また、休憩時間とはいえ、何かあれば対応はするのでご安心ください。

ホームによっては交代制にして夜間も支援を行っているホームがあります。また、休憩時間としているホームでも支援計画において夜間に定期的な支援が必要とされる方には支援を行っています。

04. グループホームが抱える課題

資料1ページ右下に「有償職員滞在1~2%とあります。その職員は「夜勤」に当たりますか？（す）と記載されていますが、それと職員用の入居料はあり、個室に比べておてはりですか？
 「基本、平均的な支援はなし」とあります。ほとんどの入居者は外へ出ている（働く）というのでしょうか？
 グループホームの課題は何ですか？ 入居したいにできず、また、支援体制が十分でない、また、入居年数の制限がある、などの支援が必要とされている人への対応は、何ですか？
 ←スタッフ

- ①入居されている方の高齢化。高齢化に伴い、支援内容や生活習慣が変化したり、設備の対応ができない。相応しい対応ができる他の所も見つからない。
- ②支援者の高齢化。従来から働いている職員が高齢化し、途中採用の職員はご年配の方が多いためGH全体で職員の高齢化が進んでいる。
- ③男女、恋愛の問題。就労されている方たちの恋愛の問題や結婚の問題に対応できない。
- ④入居されている方がこのまま福祉のサービスの中で支援を受けていくか完全に自活していくかそのはざまの支援がゆきとどかない。

※GH：グループホームの略

質問カードの回答 ~GHの運営について 2~

05. グループホームの人数について

- 1つのグループホームの人数は何人？
- トイレの世話とかしてもらえますか？
- パルコとか個人で持ち込めますか？

おおむね、5~6人ぐらいです。

06. 365日型と週末帰省型のちがい

365日型と週末帰省型がありましたが、利用負担や支援状況の割合はどのように決まっていますか？
実情を教えてください。

365日型のホームに「お昼のお弁当を届けるサービス」といった話を頂きますが... 本当ですか？ 支援は足りているのでしょうか？

現状、割合は明らかになっていません。ただし、戸塚区内においては現在調査中です。3月までには数字を出したいと思います。あらためて来年度4月以降にクローバーまでお問い合わせください。

365日型と週末帰省型のちがいは、2種類の結果から導かれます。一つは、入居者さん自身やそのご家族が若く、週末を希望される場合。もう一つは職員が安定せず、十分な支援が行き届かない場合です。

それ以外のちがいはありませんが、食費や光熱水費等は原則、実費負担なので、利用数によって変動します。

07. 365日型のホームの支援について

365日型と週末帰省型がありましたが、利用負担や支援状況の割合はどのように決まっていますか？
実情を教えてください。

365日型のホームに「お昼のお弁当を届けるサービス」といった話を頂きますが... 本当ですか？ 支援は足りているのでしょうか？

ホームの中にはサテライト型といい、もともと職員が在籍しないホームもあります。

母体となる場所があり、そこに職員が在籍し巡回したりしています。

そういうホームでは、あえて職員は必要以上のことに口をはさみません。

GHはホームによって本当に様々です。早い段階からいろいろなホームを見学されていくのが良いと思います。

※GH：グループホームの略

08. 聴覚障害、車いすの方の利用について

1. 初めに参加させて頂いた聴覚者です。
視覚障害者、車いすの方がグループホームに入る制度がありますでしょうか？

2.

聴覚障害の方、車いすの方が利用するにあたり特別な制度はありません。障害程度区分を受け、その区分に応じて使える福祉サービスが決まります。

GHは生活場面における直接支援が主となるので、障がいがあっても自活される方はサテライト型のホームになるかと思います。しかし、運営上の問題から数はとても少なくなります。

また、車いすの方が利用できるホームが少ないのは敷地面積と家賃が見合わないことが理由にあげられます。

※GH：グループホームの略

質問カードの回答 ~GHの運営について 3~

09. 重度の方が入れるGHの新設予定

施設から地域へという事がグループホームが強くおっしゃっているが、今入居されている方は自立度の高い人が多く伺えます。最重度の息子は入居が難しいでしょう。今後重度の方の親が今後の生活をどうしたいかを伺えます。行政として施設を減らす方針と伺っているので、今後は重度の方も入居するグループホームも新設されるのでしょうか。

新設状況に関しては詳しい情報は入っていません。

おっしゃる通り、絶対数としては就労されている方の利用率の方が高いと思います。GHの成り立ちにも影響していることと思います。

ただし、支援区分の高い方が利用しているホームもあります。支援区分の高い方が利用される際の課題の一つとして送迎があげられます。GHは原則、送迎手段がないため、日中事業とのやりくりがうまくいかどうかかかぬめです。また、夜間にも支援が必要だと間口がせばまります。また、お子様が最重度とのことですが、車いすを利用されていると使えるホームは極端に少なくなってしまいます。

※GH：グループホームの略